御祝辞

「創立30周年をお祝いして」

札幌有惑ラグビーフットボールクラブ 会長 白井 興一 様



札幌少年ラグビースクール 30 周年を心からお祝い申し上げます。

昭和56年(1981年)、札幌有惑ラグビーフットボールクラブ先輩諸氏が、推進活動の中心となって開校され、以来、30年、長くもあり短くもあり、諸先輩、父母の皆様の子供達に注ぐ愛情と熱情、それに応える子供達の心、これらがあい調和して、スクールが継続・発展して参ったものと拝察いたします。

既に多くの卒業生が巣立って、現在では、社会の中核となって、立派に活躍されている方々も多いと伺っております。

ラグビーは、そのプレーや練習においてとて も厳しい現実が控えています。それを乗り越え なければなりません。

また基本的な精神は、「オールフォアワン・ ワンフォアオール」です。

さらに1チーム15人という大勢のメンバーが、それぞれのポジションできっちり役割に応じて働かなければ、勝利を得ることが出来ません。

このような、ラグビーの構造を子供の頃にしっかりと受け止めてもらうことが出来たら、その後の長い人生に、どれだけ役に立つことでありましょうか。

札幌少年ラグビースクールにおかれましては、これからも鋭意ラグビーの指導を通して、「豊かな心と健康な身体をもった子供達」を育てるクラブとして、長く長く発展されますことをご祈念申し上げて、措辞ではありますがお祝いといたします。

「札幌少年ラグビースクール開校30周年 を祝して」

北海道尚志学園高等学校 校長 髙嶋 賢司 様



札幌少年ラグビースクール開校30周年、おめでとうございます。

札幌少年ラグビースクールが開校以来多くの生徒、指導者、保護者並びに関係者の皆様に支えられラグビー競技の普及発展に尽力されたことに敬意を表したいと思います。そして、多くの生徒がたくましく育ち、高校、大学、社会人のラグビー選手としてだけではなく、社会人としても立派に活躍していることに、大変心強く感じています。

日ごろ、本校の駒岡グランドで練習に参加しているスクール生の活動を目のあたりにしていると、無心に動き、汗を流す姿には、いつもほほえましく感じています。低学年の生徒が疲れを知らずに走り回り、一息入れるとまた嬉嬉として走る姿、上級学年になると、指導者も当たり飛ばすほどのパワーを身につけスキル的にも選手として一人前になってくる成長の姿を見ると頼もしく感じます。この中からジャパンの選手が育ち、ワールドカップで活躍する選手が現れてくれることを願っています。

スクール創設の頃はスクールの生徒が中学を卒業しても高校で力を発揮できる場所がなく、続けることが少なかったのではないかと思います。しかし、近年はスクール生が高校、大学と進み活躍する選手が多くなっています。しかも、体力、技術、意欲においても高いものが感じられます。このようなことから、札幌少年ラグビースクールの活動がますます活発となり、ラグビーを通して有為な人材を育成するクラブとして発展することを祈念し、お祝いとします。